

Magic xpi 4.13

インストールガイド補足

OUTPERFORM THE FUTURE

Magic Software Japan K.K.



目次

- 第1章 インストール前作業
 - 1.1 8dot3nameの確認
 - 1.2 IISのインストール
 - 1.3 内部DBで使用するDBMSのインストール
 - 1.4 JDK1.8のインストール
- 第2章 インストール
 - 2.1 インストールの流れ
 - 2.2 注意事項
- 第3章 インストール後作業
 - 3.1 Windowsサービスの設定
 - 3.2 MSSQL ポートの設定(内部DBでMSSQLを使用した場合)
 - 3.3 確認



第1章

インストール前作業



OUTPERFORM THE FUTURE™

1.1 8dot3nameの確認

- Magic xpiをインストールするドライブは「**8dot3name**」が有効でなければなりません。
- 以下のコマンドで確認します(管理者権限で)。

> **fsutil 8dot3name query** <インストールしようとするドライブ>

例 :

> **fsutil 8dot3name query D:**

- 有効でない場合、以下のコマンドで有効にします (管理者権限で)。

> **fsutil 8dot3name set** <インストールしようとするドライブ> **0**

例 :

> **fsutil 8dot3name set D: 0**



1.2 IISのインストール

- サーバーマネージャの「役割と機能の追加」より、「Webサーバー（IIS）」を選択。
- デフォルトの役割サービスの他に、下記の役割サービスを有効にする。

- ✓ Webサーバー

- ✓ HTTP共通機能

- ✓ 既定のドキュメント

- ✓ 静的なコンテンツ

- ✓ セキュリティ

- ✓ 要求フィルター

- ✓ アプリケーション開発

- ✓ .NET 拡張機能 4.5

- ✓ ASP.NET 4.5

- ✓ CGI

- ✓ ISAPI フィルター

- ✓ ISAPI 拡張

- ✓ 管理ツール

- ✓ IIS 管理コンソール

- ✓ IIS 6 管理互換



1.3 内部DBで使用するDBMSのインストール

- Magic xpiはログ等の管理のためデータベースを使用します。

- 日本でサポートされる内部データベースは次の通り。

- Oracle : 12c、18c、19c

- MSSQL : 2008以降

ただし、比較的新しいバージョン : 2014以降の使用を推奨します

- 他のDBMSは内部データベースとしてサポートされません(アクセス可能なDBMSとは別)。

- 互換性ガイド、インストールガイドの記述に誤りがありました。

- ここに訂正させていただきます。



OUTPERFORM THE FUTURE™

1.4 JDK1.8のインストール

- Magic xpi 4.13では、インストールする前にJDK1.8(**32bit、64bitともに**)をインストールする必要があります。
- インストーラーには同梱されていませんので、別途入手していただく必要があります。
- 以下のJDK1.8がサポートされます。

ディストリビューション	バージョン
Open JDK	Java 8 262
Zule JDK	Java 8 265
Zule JDK	Java 8 262
Oracle JDK	Java 8 241
Amazon Corretto	Java 8 262

※Oracle Java version 1.8 update 261 はサポートされていません。

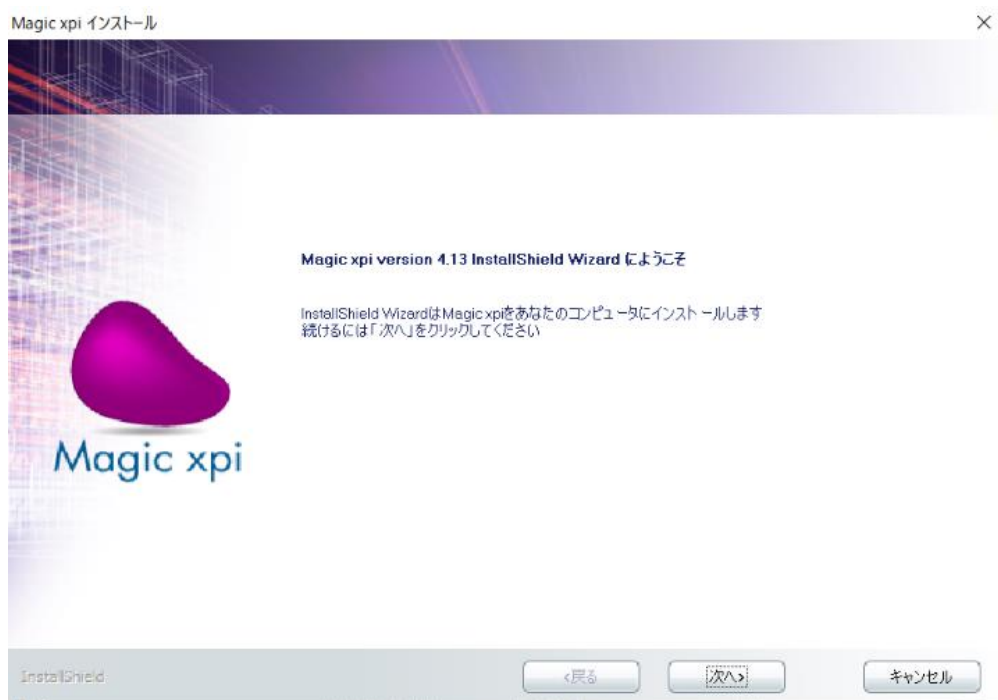
※Amazon Correttoがお勧め。



第2章 インストール

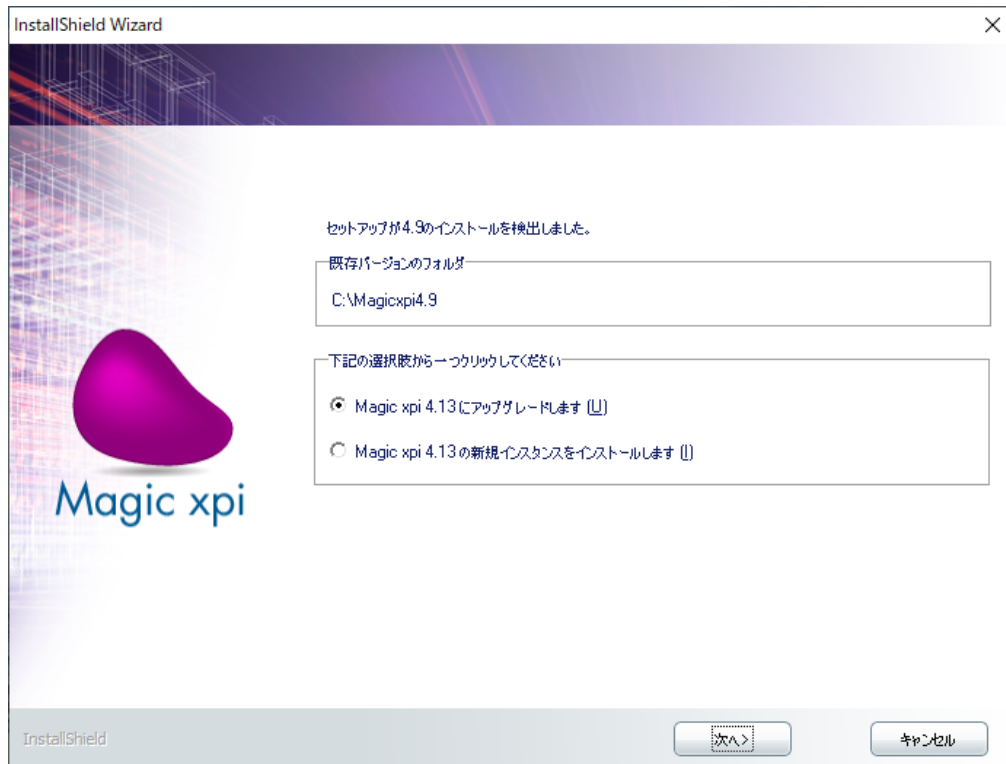
2.1 インストールの流れ

- インストールはコンピュータに対するAdmin権限を持つユーザーで実施します。
例：Administrator



2.1 インストールの流れ

- 過去バージョンがインストールされていると、「過去バージョンに上書き」するか「新たにインストール」するか確認されます。



- 過去バージョンとMagic xpi 4.13は同居することはできません。
- ただし、過去バージョンとMagic xpi 4.13を同時に実行することはできません。
- Magic xpi 4.13の新規インストールをお勧め。

2.1 インストールの流れ

■ 使用許諾契約



Magic xpi インストール

Magic xpi ソフトウェア使用許諾契約

Magic xpi version 4.13. をインストールするには、Magic Softwareのソフトウェア使用許諾契約に同意する必要があります

Magic xpi Integration Platform ソフトウェア使用許諾契約書
No. MSJJ-0006-1

お客様へのお願い
本ソフトウェアをインストールする前に、必ず下記の条件をお読みください。インストールされた時点で、下記使用条件をご承諾いただいたものといたします。ご承諾いただけない場合はすみやかにインストール処理を中断してください。

Magic Software Enterprises社(以下「MSE」という)とお客様(以下「お客様」という)は、このパッケージに同封されているソフトウェア・プログラム(以下「許諾プログラム」という)及び同封物(マニュアルなど)について以下の通り合意しました。なお、本契約書に関するお問い合わせは、マジックソフトウェア・ジャパン株式会社(以下「MSJ」という)まで書面にてご連絡いただきますようお願い致します。

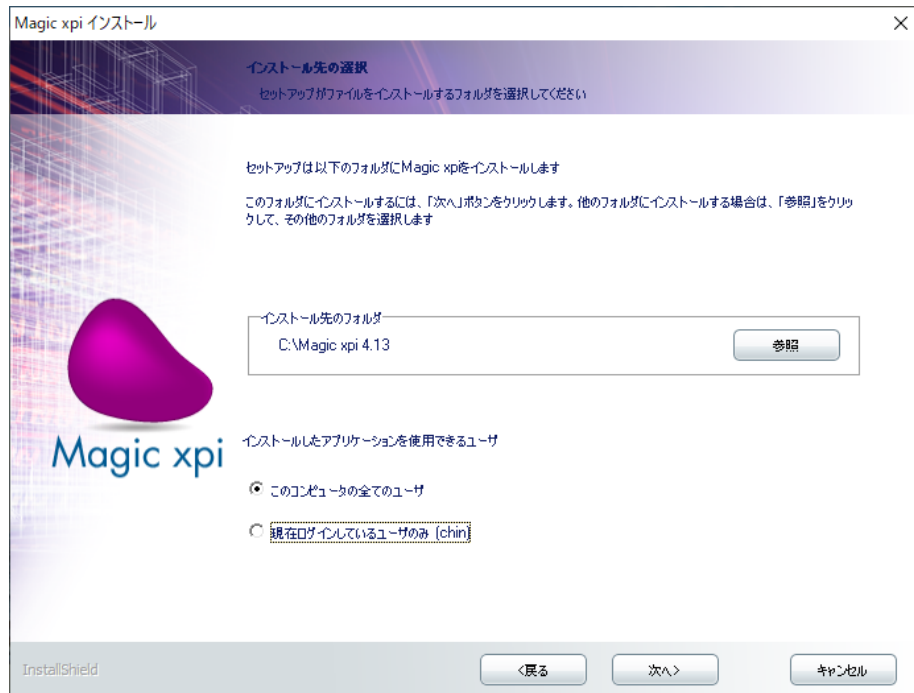
ソフトウェア使用許諾契約の条件に同意します
 ソフトウェア使用許諾契約の条件に同意しません

印刷

InstallShield

<戻る 次へ> キャンセル

■ インストール先の選択



Magic xpi インストール

インストール先の選択
セットアップがファイルをインストールするフォルダを選択してください

セットアップは以下のフォルダに Magic xpi をインストールします
このフォルダにインストールするには、「次へ」ボタンをクリックします。他のフォルダにインストールする場合は、「参照」をクリックして、その他のフォルダを選択します

インストール先のフォルダ
C:\Magic xpi 4.13

参照

インストールしたアプリケーションを使用できるユーザ

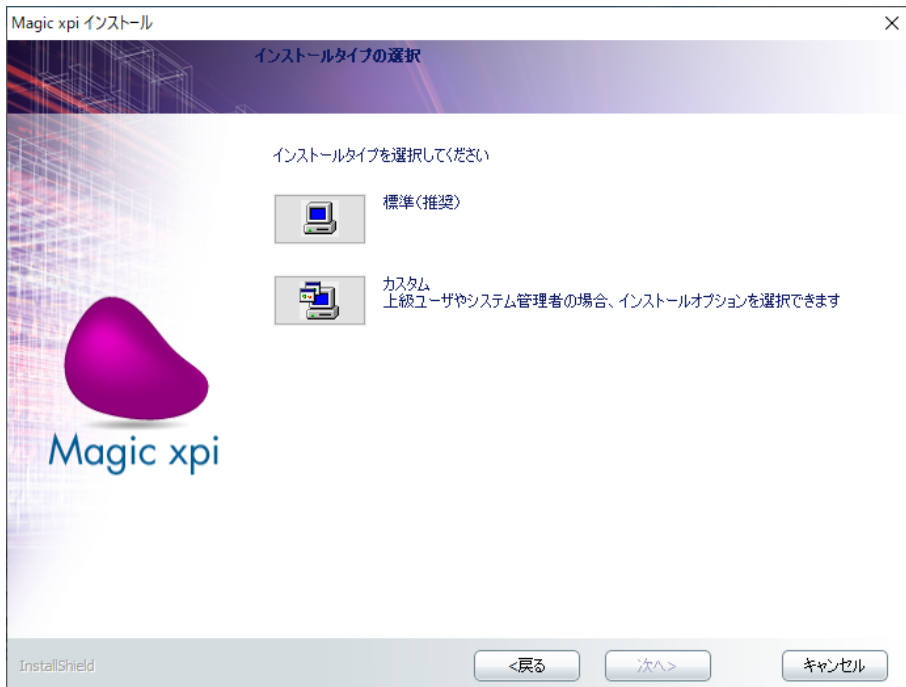
このコンピュータの全てのユーザ
 現在ログオンしているユーザのみ (chin)

InstallShield

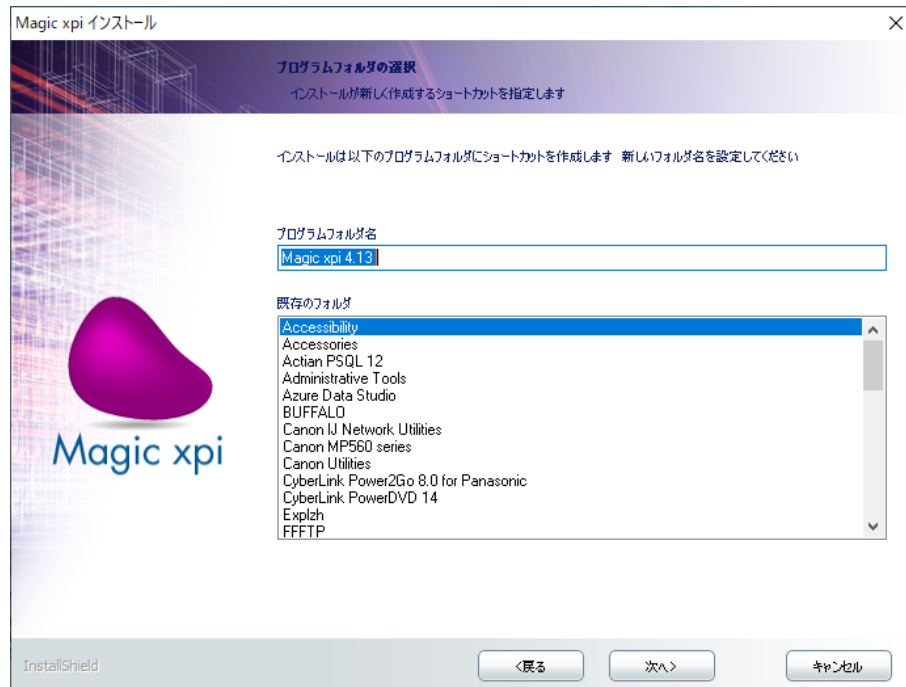
<戻る 次へ> キャンセル

2.1 インストールの流れ

■ インストールタイプの選択

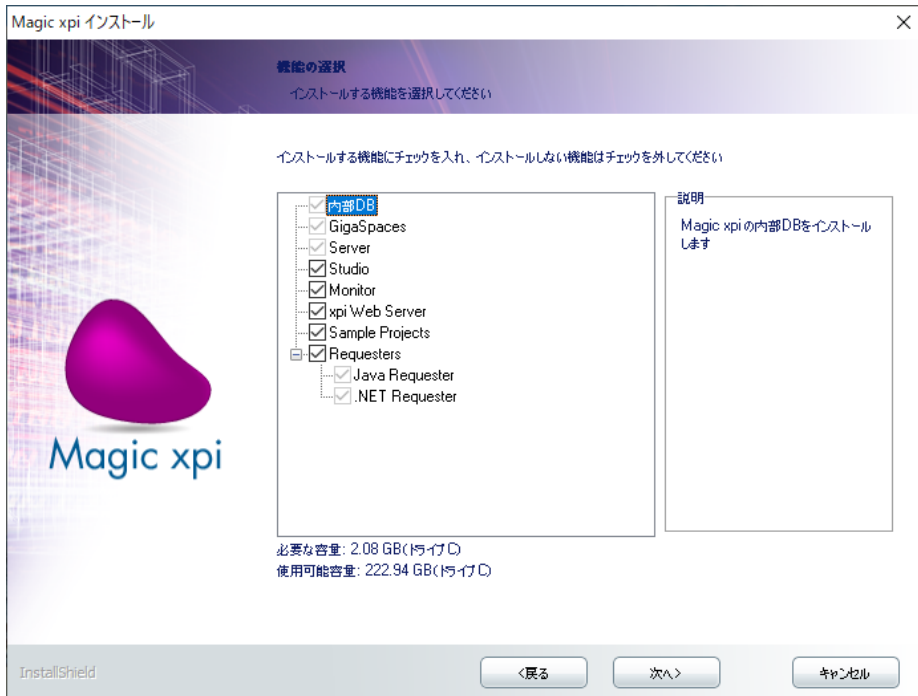


■ プログラムフォルダの選択

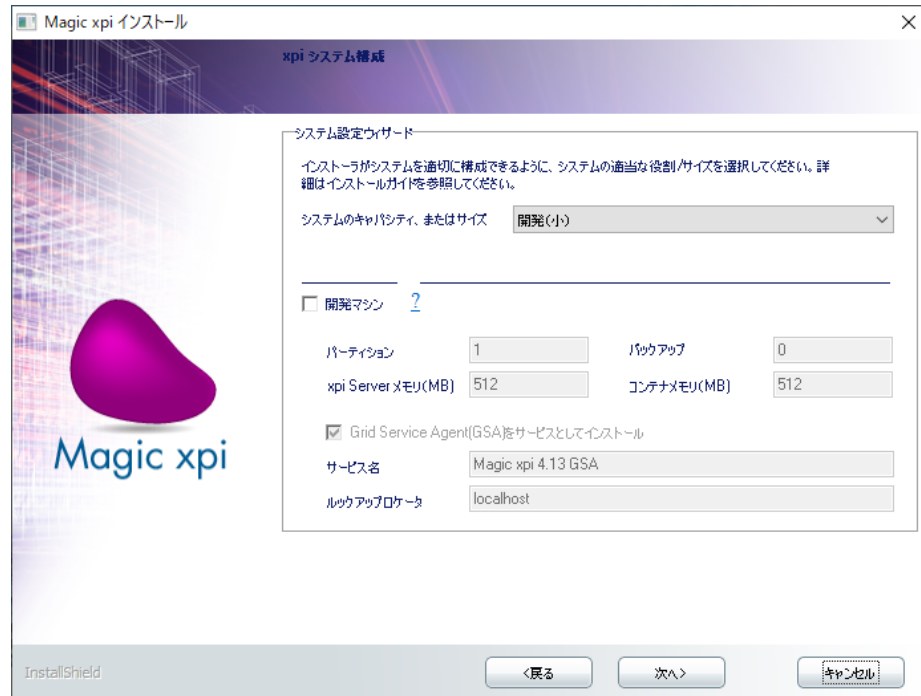


2.1 インストールの流れ

■ 機能の選択



■ システム構成



※開発用PCにインストールする際は「開発(小)」を選びます。



2.1 インストールの流れ

■ システム構成

Magic xpi インストール

xpi システム構成

システム設定ウイザード

インストーラがシステムを適切に構成できるように、システムの適切な役割/サイズを選択してください。詳細はインストールガイドを参照してください。

システムのキャパシティ、またはサイズ **標準(中)**

高可用性を実現するには、3ノードのクラスタ構成を推奨します。

開発マシン

パーティション	1	バックアップ	1
xpi Server メモリ(MB)	3072	コンテナメモリ(MB)	1024

GigaSpaces Agent (GSA) をインストールする

サービス名: Magic xpi 4.13 GSA

ルックアップロケータ: CHINCFLEX6

InstallShield

<戻る 次へ> キャンセル

■ システム構成

Magic xpi インストール

xpi システム構成

システム設定ウイザード

インストーラがシステムを適切に構成できるように、システムの適切な役割/サイズを選択してください。詳細はインストールガイドを参照してください。

システムのキャパシティ、またはサイズ **標準(大)**

高可用性を実現するには、3ノードのクラスタ構成を推奨します。

開発マシン

パーティション	2	バックアップ	1
xpi Server メモリ(MB)	4096	コンテナメモリ(MB)	2048

GigaSpaces Agent (GSA) をインストールする

サービス名: Magic xpi 4.13 GSA

ルックアップロケータ: CHINCFLEX6

InstallShield

<戻る 次へ> キャンセル

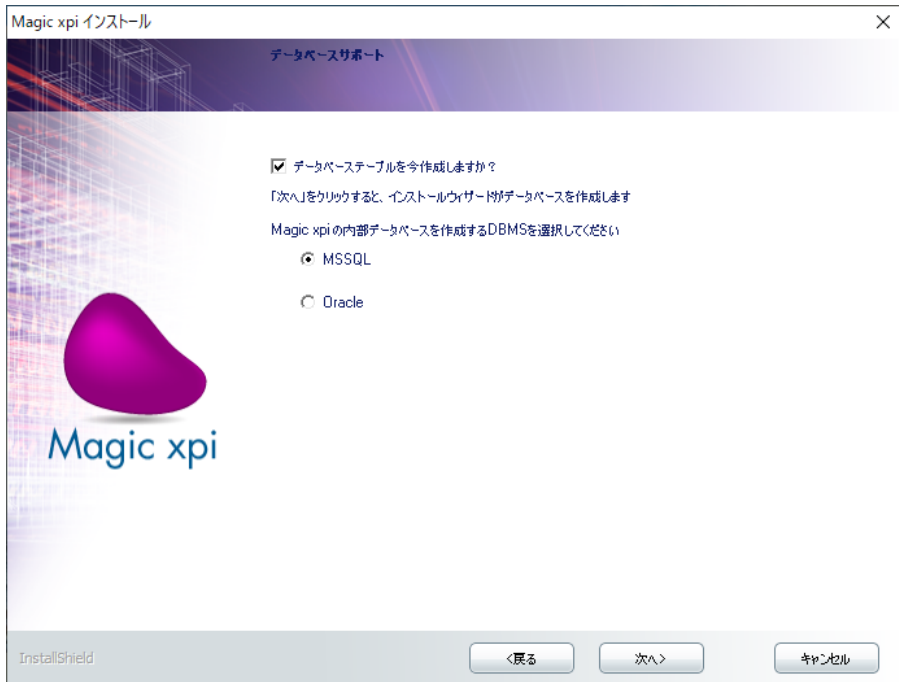
※ミドルウェアGigaSpacesが使用するメモリサイズが異なります。



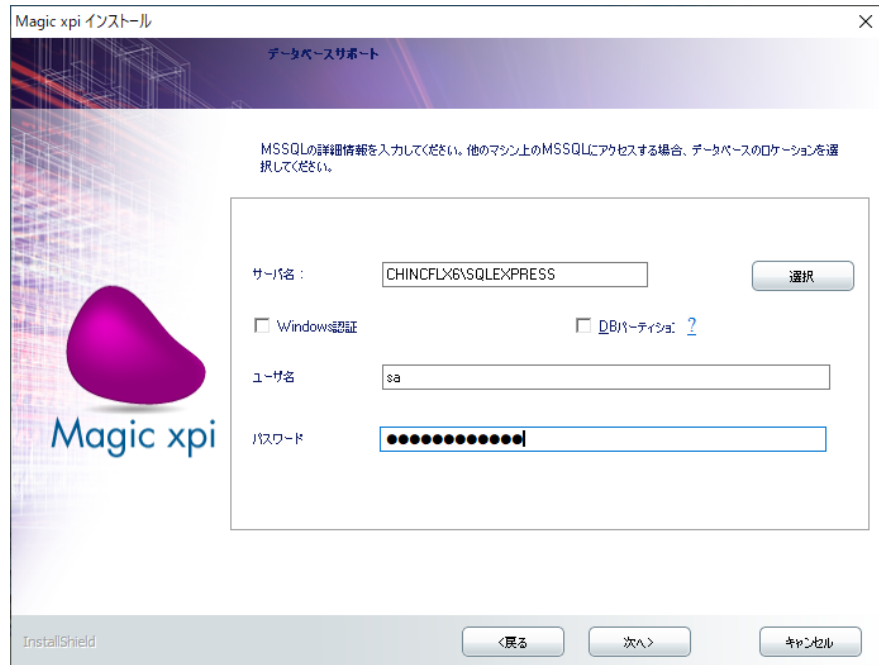
OUTPERFORM THE FUTURE™

2.1 インストールの流れ

- 内部データベースの選択



- 内部データベースの設定

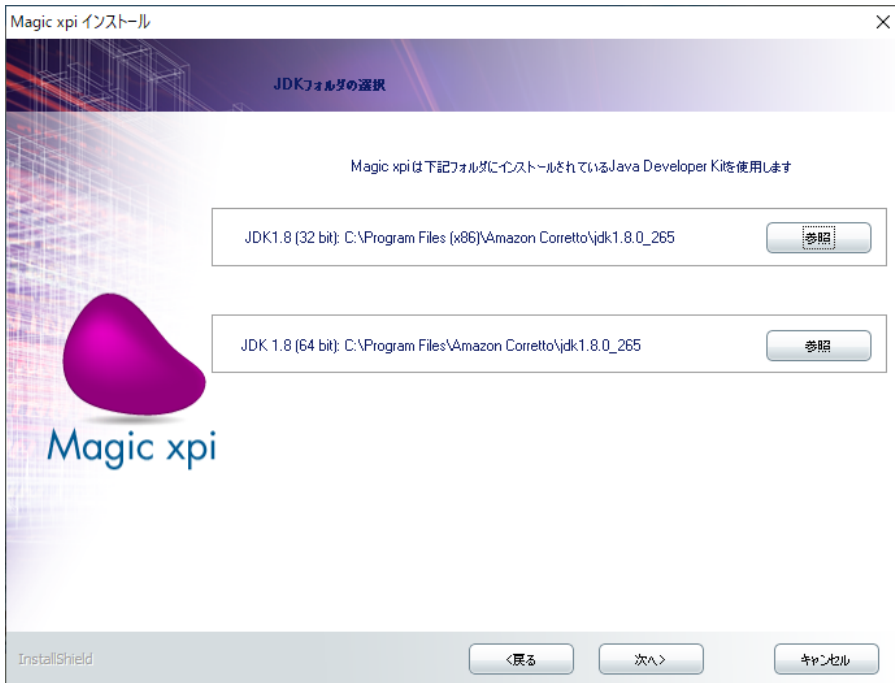


※MSSQLでの例

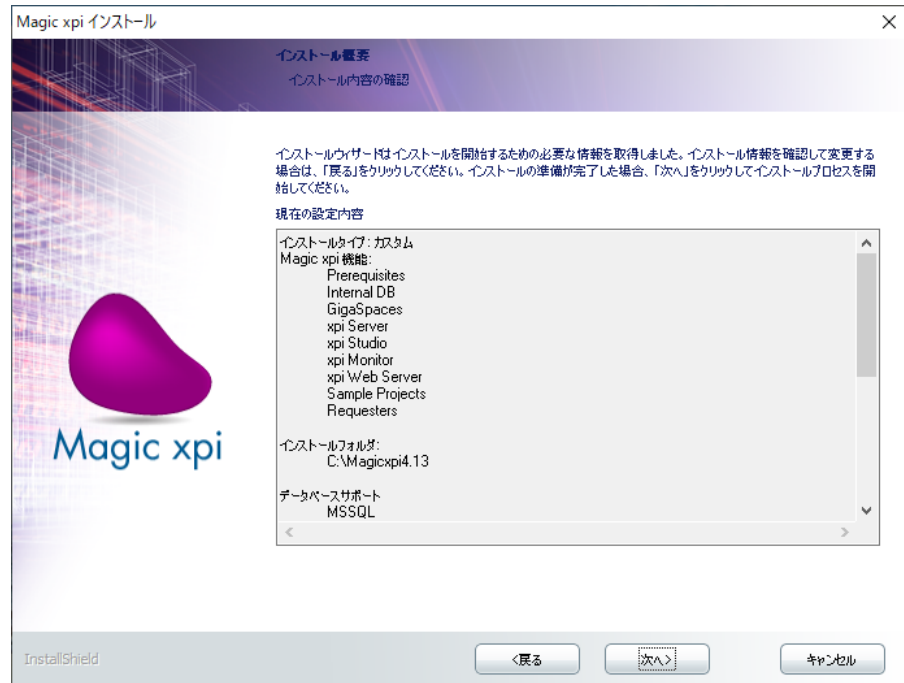


2.1 インストールの流れ

■ JDKの選択



■ サマリー



2.2 注意事項

- TCPListenerClientである「TcpTriggerTool.exe」はインストーラーから自動的にインストールされません。
<インストールメディア>¥ TCPListenerClient フォルダに格納されています。
適当なフォルダにコピーし、使用してください。
- Local Agent はインストーラーから自動的にインストールされません。
詳細は別途説明資料をお読みください。



第3章

インストール後作業



OUTPERFORM THE FUTURE™

3.1 Windowsサービスの設定


- Magic xpi 4.13をインストールすると、Windowsサービスに以下のエントリが作成されます。
 - Magic xpi 4.13 Debugger
 - Magic xpi 4.13 GSA
 - Magic xpi 4.13 Monitor Display Server
 - Magic xpi 4.13 Soap Service

- 上記4サービスはデフォルトではログオンユーザーが「Local System」アカウントとして作成されますが、これを変更します。 ※「Local System」のままの運用はお勧めしません
 - Administrator : インストールしたサーバ管理者権限を持つアカウント
 - 独自ユーザー(MagicxpiUserなど) : ローカルサーバに対するAdmin権限を持つユーザー
 - Networkドライブにアクセスする際はそのアクセス権を持つユーザーを指定



3.1 Windowsサービスの設定

■ 設定例

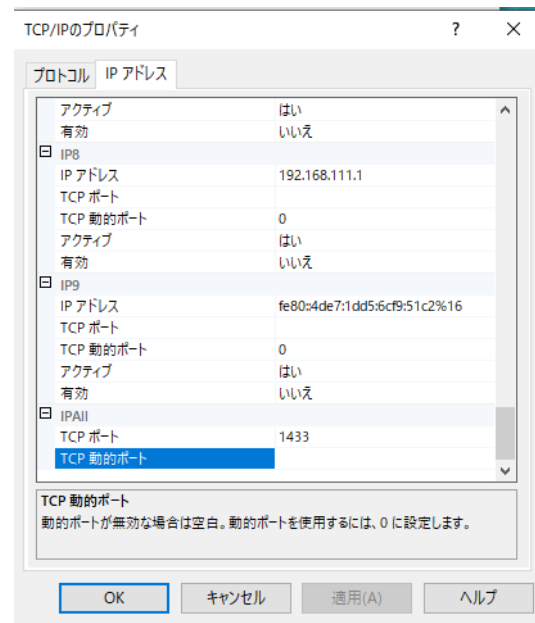
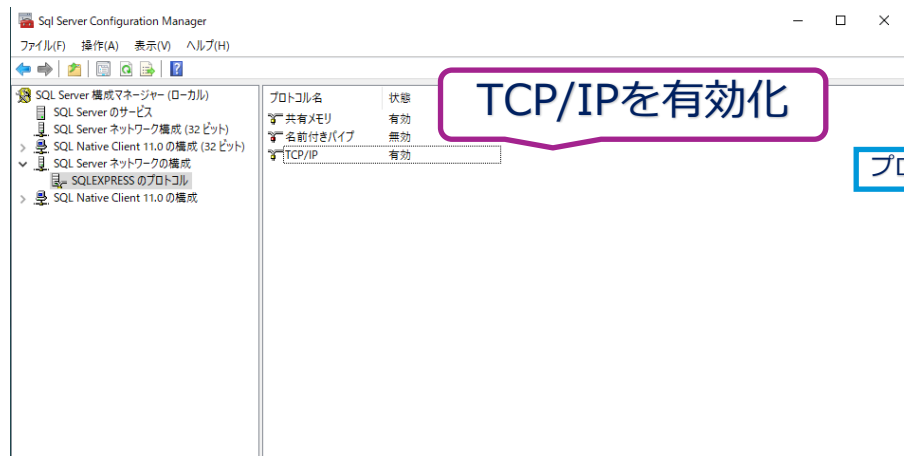


The screenshot shows the Windows Services console with the search filter 'サービス' (Services). The list includes 'Microsoft Update Health Service' and four Magic xpi 4.13 services. The Magic xpi services are all running and set to automatic startup. The table below summarizes the visible data from the screenshot.

名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン
Microsoft Update Health Service				
Magic xpi 4.13 Debugger	Magi...	実行中	自動	.\%Magicxpi413GigaSpace
Magic xpi 4.13 GSA		実行中	自動	.\%Magicxpi413GigaSpace
Magic xpi 4.13 Monitor Display Server		実行中	自動	.\%Magicxpi413RTView
Magic xpi 4.13 Soap Service	Apac...	実行中	自動	.\%Magicxpi413Soap

3.2 MSSQL ポートの設定

- 内部DBにMSSQLを使用する場合、インストール後に以下の設定を行います。
 - SQL Server 20XX 構成マネージャーを使用し、MSSQLが使用するポートの設定を行います。



TCP動的ポートを空白に設定

3.3 確認

- デスクトップ上に作成される「Magic xpi 4.13」フォルダー内の「GigaSpaces - UI」を起動します。

名前	更新日時	種類
Configuration File	2020/10/27 17:21	ファイル フォルダ
Help	2020/10/27 17:21	ファイル フォルダ
GigaSpaces - UI	2020/10/27 17:20	ショートカット
GigaSpaces - 実行	2020/10/27 17:20	ショートカット
Magic xpa スタジオ	2020/10/27 17:21	ショートカット
Magic xpi スタジオ	2020/10/27 17:21	ショートカット
Magic xpi のアンインストール	2020/10/27 17:21	ショートカット
Magic モニタ	2020/10/27 17:21	ショートカット
コネクタビルダ	2020/10/27 17:21	ショートカット
環境設定	2020/10/27 17:21	ショートカット

The screenshot shows the GigaSpaces Management Center interface. The left pane displays a tree view under 'Hosts' for 'CHINCFLX6'. The tree structure is as follows:

- Hosts
 - Utilization
 - gsa[9724]
 - gsc-1[3260]
 - mgxpi-gs.1 [1]
 - MAGIC_SPACE
 - Event Containers
 - gsc-2[8028]
 - mgmirror-gs [1]
 - mirror-service
 - mginfo-gs.1 [2]
 - MAGIC_INFO
 - Event Containers
 - gsc-3[1572]
 - mgxpi-gs.1 [2]
 - MAGIC_SPACE
 - Event Containers
 - mginfo-gs.1 [1]
 - MAGIC_INFO
 - Event Containers
 - gsm-4[10900]
 - lus-5[9444]

The right pane shows the details for the selected host, displaying the IP address 'CHINCFLX6@192.168.238.1' and the operating system 'Microsoft 18363, 64 bytes'. Below this, a 'Services' section lists the services visible in the tree view.

- 左側
 - gsa
 - gsc
 - gsm
 - lus

の4種類が表示されていることを確認します

- 右側
 - MAGIC_SPACE
 - MAGIC_INFO

の2種類が表示されていることを確認します

A low-angle, upward-looking photograph of two men in business suits shaking hands. The background is a modern building with a grid of windows, creating a strong sense of height and architectural structure. The lighting is bright and warm, suggesting a sunny day. The handshake is the central focus, symbolizing agreement or partnership.

THANK YOU!



OUTPERFORM THE FUTURE™